



<http://www.jaaso.or.jp/>

JA あそだより

平成28年1月

謹んで新年のお慶びを申し上げます



阿蘇山からの初日(北外輪から望む)

■今号20ページ 主な内容

- 原山寅雄組合長「新年のご挨拶」
- 生産各部会の話題と活動状況
- スポーツの秋、収穫の秋に、各地域で多彩なイベント
- 地域社会と共に、JA阿蘇青壮年部・女性部の取り組み
「あそっ子スクール」ほかJA阿蘇の情報を満載！



2016
新年

VOL.84



●/△ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

新年のご挨拶

組合員からなお一層頼られる農協になるために 実動する組織づくりをめざします



阿蘇農業協同組合
代表理事組合長 原山 寅雄



新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様にはご家族御揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。12年ぶりの台風上陸で心配しましたが甚大な被害もなく収穫できたことに感謝すると共に、阿蘇中岳の噴火活動が穏やかになりますことを願います。

昨年は、JA阿蘇の不祥事問題で組合員の皆様に変なご心配とご迷惑をおかけ致しました。昨年の4月から不祥事を根絶することを命として就任させていただき、不祥事に対しては役職員一丸となって「JA阿蘇不祥事再発防止策」に沿って意識改革に取り込んでいます。更に外部からの講師を招き職員も真剣に取り組んで意識も変わりつつあり、一日も早く組合員はもとより地域住民や利用者の方々から信頼されるJA阿蘇となるように努めてまいります。

TPP問題では、政府の大筋合意を受け、国会議員の公約違反を追求しています。又、国会での批准についても断固反対の姿勢は崩していませんし、国政レベルの協議の中でも阿蘇の農業を守るために強い発信を続けています。JA阿蘇は言うまでもなく営農主体の農業協同組合であり、当然農畜産物等への影響が心配されます。若い世代への不安を残すような大筋合意ですが、JAは農家にとってなくてはならない組織であり、私にとってもJAはなくてはならない農家の一人ですので、阿蘇の農業は残し、後世に繋いでまいります。

JA阿蘇は地域の農業と社会に貢献し、生き残るためにも組織整備をしなければなりません。その一環として、中部地区の野菜集選果施設が春に完成します。当初予算の建設費より、受益者と農協の負担軽減のため、入札等により抑制することができ、経費の削減と財政の健全化を図ることができました。

「第25回JA熊本県大会」に於いて、次期3ヵ年計画の組織議案が承認され、JA阿蘇に於いても活動目標を定める「阿蘇農協活動総合3ヵ年計画」を策定中であり、更に大事なことは職員が率先して仕事ができる環境を作ることです。特に営農指導の強化を部署の垣根を越えて、相互に研修する職員育成活動を実施し営農の強化に取り組み「農家所得の増大」・「販売力の強化」・「コストの削減」を目指します。その手始めに特別栽培米専用肥料の価格引き下げに取り組みます。本年は職員が田の畔で農家と話をしている光景を期待しているところです。

年頭に当たりまして、組合員の皆様のご健勝と共にご家族の皆様にとりまして、良い一年になりますことを祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。

生産各部会の話題・活動「小国郷ダイコン」「小国郷家畜市場」「蘇陽地区ブルーベリー」

県内トップの出荷量「秋冬ダイコン」
販売高1億4000万円を見込む
〓小国郷ダイコン部会〓



野菜集荷場にダイコンを持ち込む生産者(9月30日撮影)

県内トップの出荷量を誇るダイコン産地のJA阿蘇小国郷。同ダイコン部会では2015年度産秋冬ダイコンの出荷が10月1日から12月にかけて本格的に行われました。取材当日(9月末、30t)が野菜集荷場に持ち込まれ、福岡・熊本県を中心に出荷。ピーク時には日量は60tが出荷されました。

秋冬ダイコン目標出荷量は2000t(前年比105%)で、販売高は1億4000万円(同105%)が見込まれています。

部会長の佐藤由孝さんは「秋冬ダイ

コン播種期に過酷な天候に見舞われ、かなり苦戦をしたが、手をかけた防除の徹底により、被害を最低限に抑えることができた。12月までの短い期間ではあったが、安全・安心な、品質の良い・太りの良い・美味しいダイコンを多く消費者に届けることができたと思う」と話していました。

子牛黒毛和種の雌72万円
最高価格、前年上回る好成績
〓JA阿蘇小国郷家畜市場〓



セリ前に体重を計る繁殖農家の高村宗徳さん

10月5日、小国郷家畜市場に県内外の肥育農家やバイヤーらが集まりセリ市が開かれました。セリでは体形・血統・発育などが見極められた後、次々とセリ落とされました。

当日の取引結果は、▽子牛黒毛和種

「阿蘇高原からの贈り物」
ブルーベリー使用のギフトが好評！

JA阿蘇蘇陽地区では、同地区のブルーベリーをふんだんに使用したギフトセット(サワーとジャムの詰め合わせ販売)が好評で、阿蘇高原からの爽やかな果実の贈り物として年々固定客が増えています。ギフトセットの販売価格は、ギフト大(サワー2本・ジャム3個)は3500円、ギフト小(サワー1本・ジャム2個)2200円。単品での販売も可能でサワー1本800円、ジャム1個500円となっています。(いずれも税別)

ジャムはJA阿蘇の加工場で作り、サワーは地元醸造会社にて製造委託しています。販売は地元物産館で行われており、年間を通して購入することが

22頭〓平均価格56万1438円(前年比8万6473円高)▽子牛黒毛和種18頭〓平均価格61万2111円(同12万9351円高)▽成牛黒毛褐毛6頭〓平均価格37万4760円(同4万9320円高)▽子牛乳用交雑12頭〓平均価格20万2320円(同2万6077円高)▽成牛乳用交雑3頭〓平均価格21万6000円(同2万9160円安)で、合計62頭が上場されました。最高高値



人気のブルーベリー製品ギフトセット
左箱がギフト小、右箱がギフト大

できます。蘇陽地区のブルーベリー栽培は約30年前より始まり、栽培の背景には農産物の収入源が減る6月から9月に収入源を確保したいという生産者の要望からブルーベリー栽培が導入されました。現在、ハイブッシュとラビットアイ系統が主となって栽培され、毎年9月末までに約50tが出荷され、大半が加工用として扱われています。

は子牛黒毛和種の雌72万2520円、1頭平均価格は45万5393円(前年比7万2372円高)で、依然として高値基調が継続していました。生産者の高村宗徳さんは「入場番号が②番で心配したが、思い通りの価格がついてホッとした。今後も丹精込めて飼育し、肥育農家やバイヤーらが満足する子牛を作りたい」と話していました。

生産各部会の話・活動「トルコギキョウ」「森のくまさん」「小国郷甘藷部会」

トルコギキョウ、需要増大で
11月までに約50万本を出荷
＝白水地区＝



生育状況を確認する担当職員

JA阿蘇白水地区では、贈答や冠婚葬祭など幅広い用途で需要が増大しているトルコギキョウを、(10月中旬の取材時)日量4000～5000本、九州内へ出荷しています。

取材時、出荷最盛を迎えたものは7月上旬に定植されたものです。同地区の栽培面積は200aで、50種以上の品種が栽培され、作付品種は、生産者自ら品種の特性や花の彩りを見て決めるため、毎年違った品種が栽培されることもあります。市場担当者は「他産地と比較しても白水地区は品質が良く、数量もまとまっているので安心して販売できる」と話し、今や白水地区は市場には欠かせない重要な産地として位置付けられています。

生産者の後藤長谷男さんは「品質の良い花を作るために、こだわっているのは土作り」と話し、定期的に土壌分析を行い、常に土の状態を確認すること

で、良質な花を作ることを目指しています。白水地区では2015年産の11月までの出荷本数を約50万本と見込んでいます。

12月「森のくまさん」出荷始まる
Ⅱ阿蘇町カントリエレベーターⅡ

阿蘇町カントリエレベーターでは10月20日、2015年産「森のくまさん」の集荷作業が開始されました。2015年産より販売戦略として「ヒノヒカリ」から「森のくまさん」へと品種転換を図り、管内約100戸の米生産農家が40haを作付、約500tの集荷が行われました。

丸山信義利用組合長は「2015年産は日照不足により収穫時期が遅れたが無事に収穫時期を迎えられひと安心。1俵でも多く収穫し、これからも所得向上を目指していきたい」と話し

Ⅱ小国郷甘藷部会Ⅱ
生産者10戸で150tを出荷予定

小国郷管内では「秋の味覚」甘藷の収穫が10月上旬から11月中旬まで続けられました。

小国郷では5月から6月にかけて「品種Ⅱ高系14号」を中心に生産者10戸が約10ha(前年比100%)を植付け、収穫した甘藷は専用の貯蔵庫で30日以上保管させ糖度を高めました。出荷は11月下旬から始まり、総出荷量150tを計画しています。



収穫作業を行う生産者(平成27年10月中旬撮影)

ていました。集荷された米は乾燥・粉摺り調整の行程を終えた後、12月より全国各地へと出荷されています。

小国郷甘藷部会の高村芳広部会長は「生育期間中の曇雨天や台風15号の影響で生育不良などを心配したが、収量・品質ともに上々の出来栄でホッとしている。今年も自信を持って美味しい甘藷を消費者の方々に届けられそうだ」と、笑顔で話していました。



収穫作業を行う高村宗徳さん
(平成27年10月初旬撮影)



生産各部会の話・活動「小国郷原木生しいたけ部会」「いちご部会」

「1年9ヵ月待った！
原木生シイタケ収穫祭」
Ⅱ小国郷原木生しいたけ部会Ⅱ



収穫方法を児童らに教える森産業の森竹さん

JA阿蘇小国郷原木生しいたけ部会は11月17日、福岡市内の小学校で「原木生シイタケ収穫祭」を行いました。

同企画は、体験学習として2003年より同部会の主要出荷先である福岡大同青果西部支社に隣接する2つの小学校で実施しています。

体験学習は2月に3年生による「種菌の駒打ち込み作業」、8月に4年生による「活着検査」、10月に5年生による

「ぼた木立て」、11月に5年生による「収穫祭」と月ごとに各学年で体験学習に取り組んでいます。

収穫祭当日は1年9ヵ月前に駒打ち込みしたシイタケを、5年生の児童らが森産業(株)の森竹千代光さんの指導を受け収穫しました。収穫後、児童たちは小国郷産シイタケを塩・コショウ・バターで焼き試食しました。

シイタケが苦手だった児童から「お替りはないのですか」と催促する姿も見られ、生産者も喜んでいました。

部会長の松野英一さんは「原木生シイタケの体験学習を通して安心安全な野菜に興味を持ってもらい、栽培の苦労や収穫の喜び、食べ物のありがたみを学んでほしい」と話していました。

平成27年度イチゴ生育順調
ⅡJA阿蘇いちご部会Ⅱ

JA阿蘇の2015年度イチゴが順調に生育し、株によっては一番花肥大期となっています。(10月中旬取材時)

2015年度のJA阿蘇いちご部会の品種別生産は3品種の作付けとなっており、さがほのか9.1ha(前年比106%)、紅ほっぺ1.4ha(同49%)、かおり野1.6ha(同170%)を計画しています。

生産者数は48戸(前年比98%)、販売高5億5000万円(同104%)を見込んでいます。

定植直後から低い夜温で推移し、展開葉の速度がやや遅くなりましたが、マルチ被覆や天井ビニール被覆後は日中の気候も安定したため順調な生育となりました。(取材時)9月下旬に開花したものは10月下旬の初出荷となり、部会全体の出荷期は11月中旬頃の予定となりました。

同部会若手生産者の田端伸吉さんは「本年度のイチゴの株は良い出来になった。今後は肥培管理や防除を徹底し高品質なイチゴを生産し、阿蘇イチゴのブランド力の強化を図っていきたい」と意気込みを語っていました。



営農部園芸課の江藤秀晃指導員は「現在の生育は順調。定植後から開花期までの防除指導を徹底したため、病害虫の発生は少ない。9月後半より株が動き始め例年通りの順調な生育となっている。2番花については3枚葉から4枚葉で分化を確認しており、年内は潤沢な出荷が見込める」と話していました。(写真左上Ⅱ生育を確認する田端さん(右)と江藤指導員Ⅱ10月中旬撮影)

「いちご」部会出荷査定会開催
販売目標額5億5000万円



JA阿蘇いちご部会出荷査定会で挨拶する大津部会長

※次ページに続く

生産各部会の話・活動「いちご部会」／「小国郷で廃プラ類回収」



※前ページから続く

J A阿蘇いちご部会は11月16日、阿蘇市内で2015年産いちご出荷査定会を開催し生産者や行政・市場・J A関係など約70人が参加しました。

2015年度は販売目標額を5億5000万円（前年比104%）にかかげています。

大津裕樹部会長は冒頭に「2015年産からJ A阿蘇いちご部会は、部会統合後1年目の大事なシーズンとなる。生産については、県育成新品種『ゆうべに』の試験栽培に取り組み、販売については各市場の意見・要望等から、アイテム別出荷と生産販売の強化を図り、生産者の所得向上につながるシーズンにしよう」と挨拶しました。



江藤秀晃指導員は作柄概況報告で「育苗期からランナーの発生も良く、大きな苗不足もなく、例年通り9月上旬からの定植となった。初期の生育も順調に進み、10月下旬より初出荷を迎え前年より2日遅れでの出荷となったが、2番花についても3枚葉前後での分化を確認しており、連続出雷となる見込みである。今後の出荷計画は11月中旬に出揃い、12月上旬に出荷のピークを計画しているので、年内に大きな寒波等がなければ潤沢な出荷が見込め」と述べました。



写真上＝規格別の現物目慣らしを行う生産者のみなさん
写真中＝「あそいちご」贈答用のパッケージ
写真下＝「くまモン」デザインのパッケージ

台風15号の被害資材など 廃棄プラスチック類を回収 Ⅱ小国郷管内Ⅱ

J A阿蘇小国郷管内では10月10日、台風15号の被害資材や使用済みとなった塩化ビニール、農業用ポリエチレンなど廃棄プラスチック類の回収作業を行いました。約15・4t（例年比118%）を回収しました。

廃棄プラスチック類（ハウスビニール・マルチ・肥料袋・畦波など）は管内の



指定された場所にトラックで運ばれました。廃棄プラスチック類は、塩化ビニール・農業用ポリエチレンなど4種類に分類され、専門業者に引き取られ適正廃棄（再生原料）されます。

生産者の男性は「台風15号でハウスビニールが破れ、置く場所に困っていた。例年より早めに集荷をしてもらって助かった」と話していました。

小国郷では毎年11月下旬と2月下旬に農業用廃プラの回収を実施しています。（写真右Ⅱ計量した農業用廃プラを荷台から降ろすJ A職員）

地域間交流や地域の活性化に一役！「あそっ娘短期大学」／「JA阿蘇女性部」

あそっ娘短期大学
DIYで「野菜ボックス作り」に挑戦

JA阿蘇の『あそっ娘短期大学』では9月28日、第2回目のカリキュラムとして「DIY (Do it yourself) 野菜ボックス作り」をしました。

あそっ娘短期大学は3年前より食と農を主に、文化・福祉・子育てなど様々な分野のカリキュラムを通じて、受講者の自己啓発と相互交流や親睦を深めようと年5回開催されています。

今回の野菜ボックス作りは、DIY本来の目的である「他人に何かをしてもらうのではなく、自分自身で何かを作ったり、修理したり、装飾したりする活動」を学び、実践するために行われました。

講師の今村廣一さんの具体的で分かりやすい指導によって、あそっ娘らは色とりどりの野菜ボックスを完成させました。



写真上＝作業中のあそっ娘の皆さん／写真下＝完成した「野菜ボックス」

地元野菜で焼肉のタレ作り
南阿蘇支部フレッシュミズ
加工品グループ「実菜美」

JA阿蘇女性部南阿蘇支部フレッシュミズの加工品グループ「実菜美」は10月16日、地元野菜を使用した焼肉のタレ作りをしました。同グループはフレッシュミズ活動の中で学んだことを活かし、加工品の販売を目指すため3年前よりメンバー11人で活動。

現在は地域のイベントやケータリング

グ（パーティーやイベントなどに出張し料理を提供するサービス）等にも参加しています。

今回作った焼肉のタレは、各家庭より持ち寄った地元野菜のみを使用しました。そのため添加物が少なく、子供にも安心して食べさせることが出来ます。出来上がった焼肉のタレはさつそく阿蘇特産のあか牛にも使用され、ヘルシーで食べやすいと大好評でした。

代表の藤原美里さんは「タレ作りにはまだ様々な課題があるが、JAの担当職員と力を合わせながら一つずつ解決し、加工品として販売できて6次産業化につなげていきたい」と、抱負を語っていました。



出来上がった特製焼肉のタレ(瓶詰)を持つメンバーの皆さん



「特製焼肉のタレ」原料は地元の新鮮野菜



「特製焼肉のタレ」調理の様子

さわやかに、元気はつらつと、スポーツの秋を満喫!「ゴルフ」「ゲートボール」

◆「第1回年金ゴルフ大会」 工藤西男さん(高森)優勝



JA阿蘇は10月8日、「第1回年金ゴルフ大会」を阿蘇市「あつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部」で開き、24人の選手が参加しました。本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に今回が初めての開催となりました。

開会式では原山寅雄組合長が主催者挨拶、藤田和美常務が始球式を行いプレーが開始されました。競技方法はダブルペリアで行われ、各ホールでは

スーパーショットなどがあり、選手たちは初秋の阿蘇で楽しい一日を過ごしました。熱戦の結果、工藤西男さん(高森)が優勝しました。上位入賞者8人は11月25日、あつまる宇土ゴルフ倶楽部で行われた県大会に出場しました。

第1回年金ゴルフ大会の成績は次のとおりです。

▽優勝Ⅱ工藤西男さん(高森)、準優勝Ⅱ手嶋健治さん(小国郷)、3位Ⅱ田上幸敏さん(高森)▽グロスの部優勝Ⅱ荒牧弘幸さん(高森)



写真上Ⅱ第1回年金ゴルフ大会開会式の様子／写真右Ⅱ上位入賞の皆さん



◆「年金友の会ゲートボール大会」 優勝は今町3チーム



優勝の今町3チーム

JA阿蘇年金友の会は11月7日、阿蘇市のグラウンドで「年金友の会親善ゲートボール大会」を開催しました。本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に行われています。

今年は阿蘇管内から20チーム100人の会員が参加しました。開会式では長陽チームの長野タキ子選手が元気に選手宣誓を行いました。各選手は秋晴れの中、日頃の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げました。選手の皆さんは楽しい一日を過ごしました。

競技結果は次のとおりです。
▽優勝Ⅱ「今町3」チーム、準優勝Ⅱ「黒流2」チーム、3位Ⅱ「高森B」チーム。



選手宣誓をする長陽チームの長野タキ子選手



ゲートボール大会プレーのひとコマ

さわやかに、元気はつらつと、スポーツの秋を満喫！「グラウンドゴルフ」「わんぱく野球大会」

◆「JAバンク熊本・年金友の会
親善グラウンドゴルフ大会」
荒牧勲さん（高森）8位入賞



第17回JAバンク熊本・年金友の会親善グラウンドゴルフ大会が11月12日、パークドーム熊本で開かれ県内JAから503人が参加しました。

この大会は熊本県内のJA年金友の会組織の拡大を図るとともに、会員相互の親善と融和を深める事を目的に毎年開催されています。JA阿蘇からも地区予選を勝ち抜いた45人が参加しました。

試合はA・Bブロック4コートに分かれ行われ、選手のみなさんは日頃の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げました。競技の結果、高森支部の荒牧勲さんが第8位に入賞しました。

閉会式後のお楽しみ抽選会では、当選番号が発表されるたびに歓声が上がり、当選者は豪華賞品を手にして喜んでいました。



万歳三唱の阿蘇町支部・中野経雄さん



年金友の会親善グラウンドゴルフ大会選手の皆さんと8位入賞の荒牧さん(写真右上)



優勝した「一の宮マリンス」(写真上)と準優勝の「高森ドンキーズ」

JA阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会
「一の宮マリンス」が5連覇、準優勝は「高森ドンキーズ」

10月4日、第9回JA阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会が一の宮総合運動公園で開かれ、阿蘇郡市の小学生で構成する8チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

この大会は、組合員・地域住民が住みなれた地域で健康で安心して暮らせる豊かな地域社会、環境づくりに貢献するためJA阿蘇が主催者となり、社会

貢献活動の一環として開催されています。開会式では原山寅雄組合長が、「大会に向け練習されてきた成果を十分に発揮され、最後まで頑張ってください」とあいさつ。TEAM阿蘇の倉岡弘道君が元気に選手宣誓を行いました。試合は順調に行われ「一の宮マリンス」が5年連続で優勝、準優勝には「高森ドンキーズ」が輝きました。

収穫がひと段落したJA阿蘇管内で、地域をあげて、楽しく、元気よく、賑やかに 実りの秋に感謝して、各地域で多彩なイベント繰り広げられる！

阿蘇世界農業遺産フェア 『ミラノ万博出展記念 & だご汁フェア』

◆ 一の宮中央支所 ◆

阿蘇世界農業遺産ミラノ万博出展記念とJA阿蘇一の宮中央支所の感謝祭を兼ね、「阿蘇だご汁街道」をさらに盛り上げ、阿蘇観光の振興につなげようと10月10日、一の宮中央支所直売所「四季彩いちのみや」で『一の宮中央支所感謝祭だご汁フェア』が開催されました。

当日は天気にも恵まれ、家族連れなど約1,000人が訪れました。会場では、JA阿蘇青壮年部や一の宮中央支所女性部が地元の野菜をふんだんに使ったサラダカ

レー丼の販売や、阿蘇市商工会の特製だご汁などが振る舞われ、多くの人が押し寄せ大盛況となりました。他にもミラノ万博の料理ショーで使用された「あか牛バーベキュー」の販売や、地元で採れた野菜や豆腐田楽の直売も行われ大人気となりました。

特設ステージでは、地元保育園児によるマーチング演奏やくまモン体操、一の宮中学校吹奏楽部の演奏、地元農家によるバンド演奏などが賑やかに繰り広げられました。プログラム最後には、鮮やかな衣装とメイクのメンバーたちによる「あそYOSAKOI」が披露されました。その迫力と熱気あふれる踊りに、会場からは大きな歓声が上がっていました。

(写真＝「だご汁フェア」の賑わい)



園児も一緒に
くまモン体操



味と笑顔で大サービス
「いらっしゃい！」



「だご汁」準備OK！



子供にも大人にも
大好評の
直売コーナー



しびれる！
生バンド演奏



迫力と熱気の「あそYOSAKOI」



農産物の即売会やパフォーマンスで盛り上がる『西原村ふれあいまつり』

西原村の農業・福祉・文化活動などの様子をもっと知り、そして参加体験する祭典「第16回西原村ふれあいまつり」が11月15日、西原中学校校庭をメイン会場に開催されました。当日は晴天に恵まれ、会場の特設テントで

は農産物や農産加工物の展示・即売会、甘藷や里芋の品評会、農機具や自動車の展示会などが行われました。

特設ステージでは、今回、初デビューとなるJA阿蘇職員の「ジャパンアクションボーイズ」、村職員による「からいもダンサーズ」のパフォーマンスなどが披露され、豪華お楽しみ抽選会など多彩なイベントが繰り広げられ、多くの人で賑いました。（写真＝「西原村ふれあいまつり」のひとコマ）

広～い運動場も人でいっぱい！



西原ジャパンアクションボーイズの熱唱



西原牛乳の早飲み競争



収穫の秋に感謝して大好評だった「餅投げ」

各種バザーやコーナーに来場者が列！
豪華賞品が当たる福引大会も実施
『小国郷収穫感謝祭』

JA阿蘇小国郷中央支所では11月20日、野菜集荷場で第15回収穫感謝祭が行われ、農産物販売のほか多彩なイベントが行われ、約500人の来場者で賑わいました。

JA職員による各種バザーや、青壮年部・女性部・生産部会による餅つき大会や焼肉コーナーなどには、多くの来場者の列が出来ていました。特設ステージでは「それいけ!アンパンマンショー」、女性部による「スコップ三味線」など、踊りやバンド演奏などが披露されました。また感謝祭終了時には、豪華賞品が当たる福引大会が行われ、参加者は楽しい一日を過ごしました。(写真=「小国郷収穫感謝祭」の様子)



オープニングのご挨拶



女性部によるスコップ三味線



生バンド演奏で会場は
一気に盛り上がった！



来場者で満席のテーブル席



子供たちに大人気



「アンパンマンショー」



かわい〜い踊りに
会場からため息…



人気コーナーには来場者の行列が…



あそ望の郷くぎの～立石稲荷～水路～小池水源 5km、10kmコース まるごと阿蘇ウォーキング in 南阿蘇

10月31日、今年で4回目となる「まるごと阿蘇ウォーキングin南阿蘇」が、「健康寿命100歳プロジェクト」事業の一環として開催されました。今回は南阿蘇村の「あそ望の郷くぎの」を発着点に、立石稲荷と水路を巡る5kmコースと、小池水源まで行く10kmコースに県内から100人が参加しました。当日はハロウィーンの日と重なったことから、仮装して参加する人もいました。

主催者を代表し、JA阿蘇の藤田和美常務が「阿蘇の大自然を満喫して、ウォーキングを楽しんでください」と挨拶。久木野保育園のマーチング演奏で各参加者はコースごとに次々と出発しました。

参加者らは、南阿蘇の秋深まる山々の紅葉、田園風景

や水源地帯を通るコースを元気に歩き、全員が笑顔でゴールをしました。熊本市からの参加者は「秋晴れの雄大な阿蘇を背景に楽しみながら歩けた。ぜひ、来年も参加したい」と話していました。

参加者には女性部員から阿蘇の野菜を使用したのっぺ汁とおにぎりが振舞われ、お代わりをする参加者もいました。ステージでは、ハロウィーンの日に伴いカボチャ重量当て、ハロウィーンカボチャコンテストなどがあり、仮装コンテストでは、魔女やドラキュラ、ナマハゲといった衣装に変身して参加する人もいました。最後に豪華賞品が当たる抽選会も行われ、参加者は楽しい一日を過ごしました。



園児の元気な
マーチングで
オープニング



雄大な南阿蘇の自然を歩け、歩け



ハロウィーンの
ドラキュラたちと記念撮影



立石稲荷付近を歩く参加者



ウォーキング途中で「ハイ、チーズ！」



参加者には美味し～い
のっぺ汁とおにぎり！

更なるサービス向上を目指して「葬儀受付コンテスト」／食育にも一役！「青壮年部高森支部」

葬儀受付コンテスト県大会 小野寿人職員が最優秀賞を受賞



11月5日、熊本経済連で行われた県JA葬祭事業連絡協議会主催の「第2回葬儀受付コンテスト熊本県大会」に、JA阿蘇購買部葬祭係の小野寿人職員が出場し、見事、最優秀賞を受賞しました。同コンテストには県内JAの葬祭担当者13人が出場し、選手は喪家を訪問し、喪主役から葬儀に対する意向などを聞き出し、葬儀までの打ち合わせを行いました。

競技はJA、農流研、全農の葬祭担当者らが審査、出場者らは日頃の接客の対応を披露しました。(写真右＝最優秀賞を受賞した小野寿人職員表彰の様子)

金融機関強盗を想定し防犯訓練

一の宮中央支所で実施

JA阿蘇金融部は12月1日、一の宮中央支所で金融機関強盗を想定した



一の宮中央支所で行われた防犯訓練の様子

防犯訓練を実施しました。当日は一の宮警察署の署員2人が強盗犯に扮し、店内に押入り窓口の女性客(署員)を人質に取り、カウンターで拳銃を出して「金を出せ！もたもたすんな！」と要求し、現金を奪って店外の車で逃走しました。職員は速やかに警察に通報し、駆けつけた警察官に犯人の人相や服装、逃走車両の特徴やナンバーなど、犯人に関する情報を知らせていました。

訓練終了後、参加者全員で事件発生時の冷静で正確な行動を改めて確認しました。金融部は「このような訓練を重ね防犯の意識を高め、お客様に安全・安心な金融機関を目指してまいります」と語っていました。

「耕作放棄地を解消しよう」大豆と甘藷栽培に取り組み10年目

ⅡJA阿蘇青壮年部高森支部Ⅱ



自己紹介をする盟友(写真上)／甘藷の掘り取りを行う児童と盟友

「耕作放棄地を解消しよう」と、JA阿蘇青壮年部高森支部が地元小学校と共同で耕作放棄地に大豆や甘藷栽培に取り組んで10年目を迎えました。

この取り組みは、地域住民の力で耕作放棄地を解消し、その場を活用して小学生が農業体験を行うことにより、児童の農業理解と食育につなげていくことを目的に始まりました。

10月15日、高森中央小学校1・2年と盟友ら86人が参加して、高森町にある耕作放棄地30aの一部で甘藷の収穫作

業をしました。

甘藷は5月に児童らが植え付けたもので、1年生の今村陽さんは「大きな甘藷が採れてとてもうれしい。家に持って帰りみんなで食べたい」と笑顔で話していました。収穫した甘藷の一部は学校給食でも使用される予定です。

谷川洋一支部長は「耕作放棄地の解消を行い、子供らと交流を交えながら食と農の重要性や農業の楽しさを伝え、同時に景観の改善も行っていく」と話していました。

平成 28 年度 農業大学校新規就農支援研修生を募集します
新たに、プロ経営者コース（青年就農給付金〔準備型〕の受給可能）を新設しました。

1 研修コース・対象者・研修期間

研修コース対象者	受講日受講期間	定 員	研修の特徴・対象
プロ経営者コース 就農予定時 45 歳未満の方	週 5 日(月～金) 4 月～3 月(12 ヶ月間) 8:50～16:20	10 名程度	即戦力として本格的な農業経営を目指す方。 個人管理の研修ほ場で、栽培し、販売まで行う研修 です。青年就農給付金（準備型）が受給可能です。 （要件を満たす方）
実践農業コース 平成 28 年 4 月現在 で 63 歳以下の方	週 3 日(月水金) 4 月～12 月(8 ヶ月間) 8:50～16:20	40 名程度	農産物販売を目指す方。 共同管理のほ場で研修します
特別セミナー聴講コ ース(座学のみ)	毎月 1 回(全 8 回) 原則第 4 水曜日 13:30～16:00	15 名程度	農業で生計を立てることを目指す方で特別セミナー のみ聴講する方。

2 受講料 受講料は無料。ただし、次のものは受講者負担。傷害保険料、教科書代、小農具代等
プロ経営者コースの個人管理のほ場にかかる肥料、農薬、種苗費等は個人負担

3 申込み期間 平成 27 年 12 月 4 日(金)～平成 28 年 2 月 5 日(金)午後 5 時まで
(郵送の場合は 2 月 5 日(金)当日消印有効)

問い合わせ先 熊本県立農業大学（研修部）TEL 096-248-6600

熊本農大 検索



源泉所得税の納期の特例と納付

給与などの支払いの際に徴収した所得税及び復興特別所得税（以下「源泉所得税等」といいます）は、給与な
どを支払った月の翌月 10 日までに納付しなければなりません。納付すべき税額がない場合であっても、翌月
10 日までに納付書（給与所得・退職所得の所得税徴収高計算書）を税務署へ提出していただく必要があります。
（e-Tax〔国税電子申告・納税システム〕の利用又は郵送等による提出もできます。）

また、給与の支給人員が常時 10 人未満の事業所では、一定の手続きをすることにより、源泉所得税等の納付を
年 2 回で済ませることができる源泉所得税等の「納期の特例」制度があります。

具体的には、次表を参照してください。

源泉所得税等の納期の特例制度	
源泉所得税等の区分	納付期限
1～6 月に源泉徴収した所得税 及び復興特別所得税	7 月 10 日
7～12 月に源泉徴収した所得税 及び復興特別所得税	翌年 1 月 20 日

源泉所得税等のことでお分かりになりにくいことがありましたら、
国税庁ホームページ（www.nta.go.jp 又は [国税庁](#) [検索](#)）をご覧ください。
最寄りの税務署にお尋ねください。

阿蘇税務署（電話 0967-22-0551）※自動音声案内

今季4回目「まるごとあそっ子スクール」 5月に田植えした「森のくまさん」稲刈り！

収穫後、あか牛のバーベキューで大満足！

10月17日、JA阿蘇中部地区管内で「まるごとあそっ子スクール」の参加者が稲刈り体験をしました。稲刈りにはあそっ子や保護者ら約60人が参加しました。

田んぼには、今年5月に田植えをした森のくまさんが黄金色に実り、収穫を待ちに待ったあそっ子らは青壮年部の盟友より稲刈りの説明を聞き、いっせいに田んぼへと入りました。あそっ子らは、鎌の使い方に苦戦をしながらも稲刈りを無事に終え、自分の背丈ほどもある稲をコンバインへと運びました。

コンバインに同乗して、盟友といっしょに稲刈り体験をしたあそっ子の一人は、「横の位置調整が難しかったけど、楽しい体験ができました」と感想を語っていました。

稲刈り後は、阿蘇特産のあか牛バーベキュー大会が開かれ、あそっ子らは「5月に田植えをして、稲刈りまできつかったけど、お米がたくさん取れてうれしい。収穫後のバーベキューも最高です」と満足気な表情を見せていました。今回、収穫した米は料理教室に使用したり、卒業記念としてあそっ子に贈られる予定です。



青壮年部のお兄さんが
稲刈りの実技指導



刈り取った稲を持って、
記念撮影！

コンバインに同乗して
操縦を体験



あか牛のバーベキューは
味毛格別♡





稲刈りに参加したあそっ子とスタッフの皆さん

今季5回目「あそっ子スクール」
女性部の指導で「そば打ち」
出来上がった麺で、そば料理作る！

11月21日、南阿蘇村管内でJA阿蘇営農部による「まるごとあそっ子スクール」第5回目のカリキュラム『そば打ち体験』が行われ、あそっ子やスタッフ50人が参加しました。あそっ子らは地元のJA阿蘇女性部の指導により、「そば打ち体験」に挑戦しました。あそっ子らは、最初は水とそば粉の配合割合に戸惑いながらも、みんなで協力し生地作りをしました。生地作り後、麺を切る作業では大小さまざまな麺が出来上がり、それらの麺を食べたあそっ子からは「とてもおいしい」「麺がうどんみたい」など、そば打ち体験の感想を語っていました。

そば粉をこねて、生地作りに挑戦！



真剣な表情で生地を切り、そば麺を作るあそっ子



あそっ子全員で作った
そばの麺料理
「いただきま〜す！」



厚生連ニュース



12 月

インフルエンザについて



12月ごろから流行が始まります

インフルエンザは、高熱や関節の痛みなどを伴い、重症化すると命にかかわることもある感染症です。インフルエンザの感染を広げないために、「**かからない**」「**うつさない**」対策をすることが大切です。

予防は普段の生活から



日常生活では**体調を整えて抵抗力を高めておくことが予防のポイント**です。

- インフルエンザワクチンの接種を受けましょう。(流行前に)
- バランスの良い食事と十分な休養をとりましょう。
- 人混みを避け、外出時にはマスクを着用しましょう。
- 加湿器などを使用し適度な温度と湿度を保ちましょう。
- 外出後の手洗いとうがいの励行に心がけましょう。



インフルエンザにかかった時は

- 安静にして体をゆっくり休めましょう。
- 水分を十分に摂りましょう。(お茶やスープなど飲みたいもので構いません)
- 周りの人に感染させないようにマスクを着用しましょう。
- 人混みや繁華街への外出を避け、無理に学校や職場へ行かないようにしましょう。



こんな症状があれば医療機関を受診しましょう

比較的急速に **38℃以上の発熱**があり、**せきやのどの痛み**、**全身の倦怠感**を伴う場合はインフルエンザに感染している可能性があります。このような症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。



熊本県厚生連診療所

所長 菅 正康

TEL: 096 (328) 1083 FAX: 096 (328) 1258

理 事 会 ・ 監 事 会 報 告

■平成27年度第9回理事会

日時 平成27年10月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(金融共済専門委員会・経済専門委員会)

平成27年度上半期決算実績報告について

- 1) 平成27年度コンプライアンス・プログラムの
一部追加について(案)
2) 貸付金について

報告事項

- 1) 組合員の加入及び脱退の状況について
2) ATM機の更新に伴うATMの再配置及び廃止について
3) 平成27年度内部監査実施状況報告書
(平成27年7月～9月)について
4) 平成27年度JA阿蘇不祥事未然防止のための行動計画
27年9月末進捗状況について
5) 顧客属性照会システム(CCS)の定期確認について
6) 事務ミス等の発生状況について
7) 平成27年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの
進捗状況(平成27年9月末)について
8) 平成27年度余裕金運用状況及び下期運用計画について
9) JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の27年9月末進捗状況について
10) 農機・自動車展示会開催について
11) 平成27年度土・日事故受付状況について
12) JA阿蘇くらしの活動 まるごと阿蘇ウォーキングについて
13) 不祥事再発防止策取組状況報告書(27年9月末)報告について
14) JA阿蘇中部地区野菜集選果施設新築工事費明細について
15) 平成27年産米集荷状況について
16) その他

4. 閉会

■平成27年度第10回理事会

日時 平成27年11月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(総務専門委員会)

10月末実績報告について

- 1) 常例検査指摘事項に対する回答書について(案)
2) 情報セキュリティ基本方針及び
情報セキュリティ基本規程の改定について(案)
3) アグリシステム更新、購買レジ端末更新及び
情報セキュリティ対策導入について(案)
4) 農業経営維持緊急特別対策資金の一部改正について(案)
5) 訴訟について
6) 職員年末賞与について

報告事項

- 1) 第25回JA熊本県大会の開催及び乗車場所・集合時間等について
2) 不祥事再発防止策取組状況報告書(27年10月末)報告について

4. 閉会

■平成27年度第8回監事会

日時 平成27年10月9日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成27年度上期決算棚卸監査取りまとめ事項について
2) 平成27年度上期決算監査事務手続きについて
3) 監事監査回答書協議事項報告書(案)について

報告事項

- ①常勤監事業務報告について(9月)
②常勤会議報告について(第13回)
③内部監査実施状況報告について(7月～9月)
④行事予定について

4. 閉会

■平成27年度第9回監事会

日時 平成27年11月17日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成27年度上期決算監事監査とりまとめについて
2) 平成27年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について

報告事項

- ①常勤監事業務報告について(10月)
②常勤会議報告について(第14回、第15回、第16回)
③行事予定について

4. 閉会

■平成27年度第10回監事会

日時 平成27年11月27日理事会終了後

場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 平成27年度上期決算監事監査とりまとめについて
その他

4. 閉会



KUMAMOTO
KUMAMOTO
水の恵みと大地の香り

JAバンク熊本

地産地消

応援キャンペーン2015

平成27年 11月16日月 ~ 平成28年 1月29日金

「おいしい」がいっぱい。
JAバンクも、わたしのまちも。

プレミアム

店頭金利に
0.2% 年
金利上乗せ

熊本県下募集総額 定期貯金200億円 定期積金20億円

対象…定期貯金30万円以上（期間1年以上・新規契約）
定期積金100万円以上（期間2年以上・新規契約）
全国統一年金定期貯金「結いの恵み」50万円以上（期間1年・新規契約）

Wチャンス!!

JAの直売所などで使える
商品券3,000円分を
県下で500名様に抽選で
プレゼント!!

さらに!!

JAで年金をお受取りの方、またはお受取りの
ご予約をされた方は「結いの恵み」のご契約で
8,000円相当の
国産農畜産物ギフトカタログを
抽選でプレゼント!!

※抽選は契約時と満期時の2回実施

**JA 阿蘇
限定プレミアム**

1. 下記いずれかをご契約のお客様に先着順で「ちょリスグッズ」プレゼント!!
定期貯金10万円以上30万円未満（預入期間1年以上）新規ご契約 ・定期積金50万円以上100万円未満（預入期間2年以上）新規ご契約および継続契約

2. 下記をご契約のお客様に先着順で「ちょリスランチボックス」または「ちょリスホットキス」プレゼント!!
定期貯金100万円以上（預入期間1年以上）新規ご契約

***既に当JAにお預け入れいただいている定期貯金解約後の新規ご契約は、金利上乗せの対象外となります。**

●ご契約いただける方は個人の方に限ります。 ●上乗せ金利の適用は、お預け入れ時から初回満期日までの当初預け入れ期間のみとさせていただきます。自動継続後は店頭表示金利を適用します。 ●上乗せ金利は、今後の金利情勢その他の事情により変更する場合があります。 ●募集額に到達した場合、キャンペーン期間中でも販売を終了する場合がありますのでご注意ください。 ●中途解約された場合は、解約時の当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。 ●お利息（給付補填金）には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。 ●期間中に対象商品ご契約のお客様に、定期貯金30万円を1口、定期積金100万円につき1口の商品券抽選権を付与いたします。さらに、「結いの恵み」お申込みの場合は、50万円につき、1口の国産農畜産物ギフトカタログ抽選券を追加で付与します。 ●抽選日時時点で、中途解約をされている場合、抽選権は無効となります。 ●商品券の抽選時期は平成28年2月を予定しています。 ●当選商品は現金との引換えはできません。 ●当選者の発表は懸賞品の発送をもって代えさせていただきます。 ●商品券はファーマーズマーケットやAコープ等でご利用できます。一部利用できない店舗もございますので、詳しくはお近くのJAへお問い合わせ下さい。 ●「結いの恵み」について、詳しくは「結いの恵み」のチラシをご覧ください。 ●懸賞品は一時所得となり、確定申告が必要な場合があります。詳しくは税理士等の専門家にご確認ください。

JA 阿蘇

JAの商品等について詳しくは店頭または
ホームページでご確認ください

JAバンク熊本 検索

JAバンク熊本
ちょリス